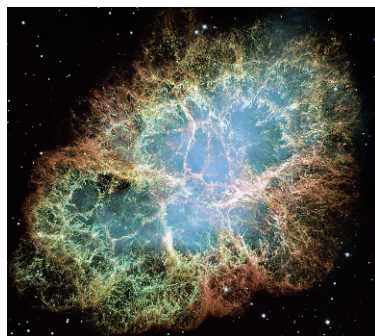


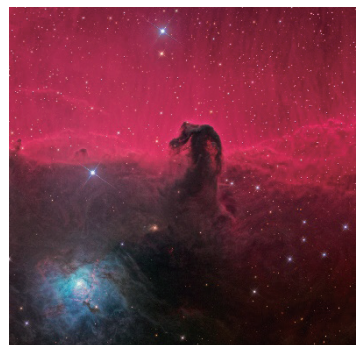
TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB

象を「客星現わる 歳星の如し（今まで見えていなかった星が現れた。木星のような明るさだ）」と記述があります。地球の天空を廻っているハッブル宇宙望遠鏡による画像が下の美しいものです。



その後水素同志が融合して、ヘリウムを創る核融合反応が起こりはじめ、自分自身で輝かせることができるようになります。さらに年代を経て核融合が進み、炭素、窒素、酸素、鉄などの様々な元素が創られていきます。そしてその星の最後には大爆発をして、星の中で創られた種々の元素を含むガスが宇宙空間にばらまかれることになります。それらのガス・塵は宇宙空間を漂い、再び集まって暗黒星雲や散光星雲として観測されることになります。この星雲が更に凝縮して、第二世代の星となります。太陽には炭素、窒素、酸素、鉄などが存在するので、第二世代かあるいは第三世代の星と考えられています。

馬頭星雲（下は同じくハッブル宇宙望遠鏡の画像です）は、散光星雲を背景とした暗黒星雲です。オリオン座にあり、1500光年の距離にあります。宇宙空間に漂うガスや塵が集まり、引力によりより密度の高いガス塊となり、新星が生まれています。

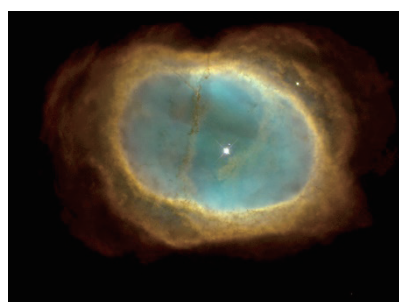


- 太陽
太陽も今から46億年前に、先祖の星が営々として創ったガスや塵が集まって誕生しました。ほぼ同じ頃に恒星の輪廻転生図に見られるように中心に太陽が誕生し、その周りに漂うガスや塵が地球やそのほかの惑星になったと考えられています。
- 地球と生命の誕生
その地球の海の中で、これらの元素が組み合わせたり、複雑な有機物となり、やがて生命の誕生となり、35

億年前のバクテリアの化石が見つかり、最古の生命の痕跡は38億年前にさかのぼることとなりました。これらの原核生物が長い年月を経て、今日見るように、地球上にはさまざまな植物・動物に進化してきたものです。人間の体を構成している元素も、嘗ては夜空で輝いていた超新星の一部と考えられるのです。宇宙は我々のふるさとといえます。

- 「大切なものは目に見えない」
宇宙のうち見えているものは4%、ダークマター（見えない存在）22%、ダークエネルギー（見えないエネルギー）74%とされていますが、合計96%が見えないものであり、まだまだ宇宙は暗黒大陸のようなものです。
- 世界の大樹や日本の屋久杉の大樹の年輪を調べることで、炭素12（陽子6個中性子6個）と炭素14（陽子6個中性子8個）の炭素同位体を測定する年代測定法により、地球の約7000年の長期的な天体環境を調べることができます。太陽からコロナとして発散されるプラズマの流れである太陽風が地球磁場を揺るがせると、地球に降り注ぐ宇宙線の量も変動し、宇宙線が増加すると炭素14が増えることが知られています。
- 太陽から地球に届くエネルギー
1年間で 6×10^{24} 乗ジュールで、全人類が1年間に使用しているエネルギーの1万倍に相当します。
- そんな莫大なエネルギーを発散している太陽も誕生してから46億年もたち、銀河系の中心を1周2億年で23回巡ったことになります。太陽の将来を考えると、今から50億年から60億年後に水素が欠乏してヘリウムが貯まり、中心核が徐々に収縮を始め、周辺部では残っている水素の核融合反応により急激に膨張し、大きさは現在の170倍、明るさは2300倍で表面温度は3000度程度の赤色巨星になります。

今の金星の軌道を越える大激変です。その後残ったヘリウムの核融合が起こり、3500万年程で燃え尽きて、小さな白色矮星とそれを取り巻くガス状の星雲となると見られており、ハッブル画像（NGC3132）がほぼ太陽の未来の姿を示していると考えられています。



（要約文責宮下）

クラブ週報 編集担当 宮下 文夫・小堀 彰・川上 鉄太郎
落合 守征・左 明貴子・吉田 しおり



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB

東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル3F 舞の間
 会長 椎野 登貴子 幹事 石原 忠始
 事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
 TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2018-2019年度 国際ロータリーテーマ「インスピレーションになろう」

本日の例会 第710回 2018年7月23日(月)

- 卓話 「はじめてのLGBT～性の多様性」
株式会社ニューキャンパス
代表 杉山 文野 様

例会報告 第708回 2018年7月2日(月)

出席率 62.07% 出席者31名+メンバー5名
(正会員61名・休会3名)

- 会長報告(椎野登貴子会長)
去年度は17名もの新会員が入会され充実の年でした。今年度は3年間で3分の1が新会員となった当クラブで、新会員の活躍の場を広げ、現会員と新会員の繋がりを大切にし、若い力を力強く上げていきたいと思っています。
皆様どうぞよろしくお願いいたします。

- 幹事報告(石原忠始幹事)
 • 本日の配布物は、ロータリーの友・週報・クラブ運営の方針と計画2018年版・会員名簿(本年度版)です。
 • 本日の理事会では、夏の育成園の予算増額・本年度予算案の説明・ニコニコについてお誕生日のお祝いをももらったらなるべくニコニコをすること・中央区の社会福祉協議会と連携して中央区で新しい奉仕活動を探っていくこと・ゲスト向けに例会の「ご案内」をお渡しすること・来週7月10日(火)の画廊巡りにご協力いただける会員は野呂会員まで・週報について紙面を現行の2倍のA3二つ折りにして写真を増やして字も大きく読み易くする改訂の承認などが議決されました。

- 7月のハッピーバースデー
 【かづきれいご会員ご挨拶】(2日生れ)
 年がいくのはいやな感じもありますが、お花を頂いたりするとうれしくもあります。
 【白坂亜紀会員ご挨拶】(20日生れ)
 銀座のクラブのママとしてお誕生日は一大イベントです。ドレスできめて頑張ります。
 【白水真子会員ご挨拶】(22日生れ)
 本日に顔にテープを貼っていますが、帯状疱疹にやられました。ワクチンを打っていたので、高熱は免れ助かりました。皆さまもワクチンは是非お受け下さいませ。

- 国際大会報告(黒岩友美会員)
 カナダ・トロントの国際大会に出席して参りました。とても寒くて大変な大会でした。2750地区のガバナーナイトの司会は私が担当し、サンバの音楽などで大いに盛り上がりました。各テーブルにカナダ土産のチョコレートをお配りしましたのでどうぞご賞味下さい。来年度のドイツ・ハンブルグ国際大会もよろしくお願いいたします。

- 地区役員紹介(椎野登貴子会長)
 • 石川和子地区青少年奉仕副委員長、地区危機管理委員
 • 時枝紀子地区青少年奉仕委員長
 • 野呂洋子地区スポーツ・文化支援委員
 • 岡田敏江地区米山学友委員
 • 清宮普美代地区公共イメージ委員・クラブ広報支援委員



- ニコニコ
 • いよいよ新年度がスタートいたしました。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。又、本日も忙しい中ゲストに富谷さまがお見えいただきましたので、ニコニコします。(椎野登貴子会長)
 • 本日から一会員として、改めて椎野会長・石原幹事に協力させていただきます。新たな船出に期待を込めて!(秋葉良子直前会長)
 • 椎野新年度おめでとうございます。よい年でありますように。(石井本子会員)
 • 新年度がはじまります。椎野会長・石原幹事よりよろしくお願いします。会員皆で協力いたしましょう。(石川和子会員)
 • 新年度おめでとうございます。椎野会長のもとに更に会が良くなることを願ってます。(上野由美会員)
 • 本日より新年度、心新たに椎野年度にご協力させて頂きたいと思います。ご指導宜しくお願い致します。(大盛敬子会員)
 • 椎野会長1年間宜しくお願いします。秋葉さん1年間本当に疲れました。ありがとうございました。(小林真由美会員)

- いよいよ椎野年度です。皆様いろいろな行事にも参加して中央新ロータリークラブを盛りあげましょう!! (辻喜代子会員)
 - いよいよ椎野年度のスタートです。また楽しく活発なクラブになりますように。(時枝紀子会員)
 - 椎野年度の始まりですね。石原幹事もついております。応援しています。(野呂洋子会員)
 - 今日も暑さに負けず元気でガンバってます! (林茶理会員)
 - ミャンマーの大女優、日本への難民第一号の友人のミヤミヤウインさん、シュエさんにお見え頂きました。ので、ニコニコさせていただきます。(村松南会員)
- 合計 32,000円 今期累計 32,000円

富田洋平前期幹事へ花束贈呈

前期の一年間の活動に感謝して、今期石原幹事から前期富田幹事に花束が贈呈されました。



「新年度会長挨拶」 椎野登貴子会長

今期のテーマは
「新会員の活躍の場を広げよう
-次世代元年-」と致しました。



前期秋葉会長の大頑張りで17名の新会員に増強頂き、当クラブはこの3年間で会員の3分の1が新会員となり、ますますクラブとしての活動が活発化してまいりました。そんな中で今期は現会員と新会員のつながりを大切にしてクラブをさらに発展させるために、若い新会員に活躍していただく場を提供していきたいと考えています。RI会長の今年度のテーマを「インスピレーションになろう (Be the Inspiration)」とし、地区ガバナーはこれを「変化を生み出すためにもっと何かをしよう。それがインスピレーションである」と訳し、地区の運営方針として「つながりを大切に」と示されました。当クラブでは、前年度秋葉会長の「出来ることを出来る時に! 皆の為に」という素晴らしい方針を受け継いで、新会員に活躍の場を広げることでクラブの力強い拡大と発展を目指したいと思います。

(各委員長挨拶)

- 奉仕プロジェクト委員会 上野由美副委員長
子どもたちの育成を大きな柱とし、新会員を積極的に勧誘して奉仕活動を行います。
- 会員組織委員会 上田美帆委員長
「新会員の活躍の場」として、会員のつながりを大切にした一体感のある例会運営を目指します。役割分担として委員長の私が例会運営、井関副委員長と大

盛副委員長が親睦行事の中心となり、新会員・現会員がより一体化・親密化することに努めて参ります。

• SAA委員会 黒岩友美委員長

例会場の管理監督について品位と風格を遵守し、来客の皆様にご満足ある例会運営を楽しんでいただき、皆様に喜んでニコニコしていただける雰囲気を作り上げることに努めて参りたいと存じます。

• 会員増強委員会 小林真由美委員長

今期の増強目標を5名とし、会員一人一人が思わず知人友人を例会に連れて来たいとするクラブとしてゲストを招待したくなる雰囲気づくりをすすめてまいりたく、どうぞよろしくお願い致します。

• 幹事 石原忠始幹事

「新会員の活躍の場を広げよう」をより推進し、新会員と現会員の交流を深め、魅力的な活動が行えるよう幹事としてバックアップしてまいります。

• 会員選考委員会 時枝紀子委員長

当クラブの会員数は60名を超え中堅クラブとして活動も安定してきています。新入会希望の方々にはどのような活動を目指していらっしゃるかをお聞きし、当クラブの特色と個性をご理解いただき、双方の相互理解に努め、慎重かつ大胆な選考を進めてまいります。

• 職業分類委員会 野呂洋子委員長

会員の多様性確保のため、社会との接点となる職業分類を大事にして活力のあるクラブ会員構成を目指します。

• ロータリー財団委員会 村松南委員長

ロータリー財団はロータリーの奉仕活動の資金的原点を支える重要な役割を果たしておりますので、寄付の充実と財団運営の広報に努めてまいります。

• 米山記念奨学委員会 清宮善美代委員長

米山財団の活動は、日本への留学を目指す外国人留学生に対する援助として日本独自の創造的奉仕活動であり、ロータリー精神を世界に広げるすばらしい原点として財団の広報と寄付の拡充に努めて参ります。

• 広報委員会 宮下文夫委員長

週報について、今年度からA3二つ折りとなり、紙面の拡大に伴い、写真を増やし、広報内容も充実させるべく努力してまいります。

HPについては、補正活動もほぼ完了したため、今後広告などが入っている現体制でよいのか、この分野を得意とする新会員のご協力を得て再生させるかの検討をすすめたいと考えています。

(要約文責 宮下)



例会報告 第709回 2018年7月9日(月)

出席率 43.10% 出席者23名+メーキャップ2名
(正会員61名-休会3名)

会長報告(椎野登貴子会長)

本日マスクで顔を隠しておりますが、実は先日対面してきた歩行者を避けようとしてバランスを失い、転倒して傷が生じてしまいました。次の例会までには治っていると思いますのでご容赦下さい。

幹事報告(石原忠始幹事)

- 本日は7月理事会の議事録を配布しました。
- 来週「海の日」の祭日で、例会もありませんのでご注意ください。
- 7月11日(水)に事務局のスペースの裏にある大きな金庫運び出すことになりましたので、時間のある男性会員は是非力をお貸し下さい。

会員増強表彰(秋葉良子直前会長)

2750地区ガバナーから会員増強に尽くした秋葉直前会長に表彰状が届き、椎野登貴子会長からご本人に渡されました。



東京中央RC 井上久嘉元会員訃報報告 (野呂洋子会員)

当クラブで10年前タイからの青少年交換留学生ビーちゃんをお預かりしたとき、故井上様から大変温かいご支援をいただき大変ありがたかったです。7月8日(日)のお通夜に出席しお別れ致しました。ビーちゃんからもお花が届いておりました。

ニコニコ

- 皆様ご心配とご迷惑をおかけ致しました。おかげ様で良くなりましたので、ニコニコします。(椎野登貴子会長)
 - 先週の金曜日に仕事で大阪に行きました! 新幹線5時間かかりました。土曜日帰ってきたら地震です! 日本大変かも知れません。西日本の方ががんばって下さい。(かづきれいご会員)
 - 本日は日江井榮二郎(ヒエイエイジロウ) 博士をおまねきして楽しい天文のお話を聞かせて頂きます。(辻喜代子会員)
- 合計 7,000円 今期累計 39,000円

画廊巡り報告(福元智子プログラム委員長)

明日7月10日(火) 午前10時00分から画廊巡りがありますので、協力会員は泰明小学校図書室へ集合下さい。

卓話「宇宙からの手紙」 東京大学名誉教授・天体博士 日江井 榮二郎 先生



【ご略歴】

- 1955(昭和30)年3月 東京大学大学院修士修了、
東京天文台 入台
- 1977(昭和52)年 フランス、パリ天文台客員教授
(1年間)
- 1979(昭和54)年 東京大学東京天文台教授
- 1982(昭和57)年 東京天文台乗鞍コロナ観測所長
- 1992(平成4)年 国立天文台教授停年退職
明星大学教授
- 1998(平成10)年 明星大学長
- 2002(平成14)年 同上定年退職
- 2005(平成17)年 アスンシオン大学名誉博士
- 現在、東京大学名誉教授、国立天文台名誉教授、明星大学名誉教授
- 伊藤科学振興会理事、稲城ICカレッジ学長

• オーロラは、太陽から降り注ぐプラズマが地球の磁力線に流されて大気内の酸素原子や窒素原子を励起することで発光する現象ですが、ある意味「宇宙からの手紙」ともいえるものです。物理学者中谷宇吉郎博士は、雪の研究に尽くし、「雪は天からの手紙」との言葉を残し、生々流転の現象と宇宙天気予報について説いておられました。

• 星の生成(超新星爆発)

鴨長明が100億歳の生涯を送ったなら、
「夜の天(そら)星の光は絶えずして、
しかも もとの星にあらず
天の川の 星ばしは
かつ消え かつ生まれて
久しくとどまりたるためしなし」

という感慨を持ったのではないかと考えています。

現代の天文学は、夜空に輝く星々には各々寿命があり、生まれては消え、また新たに生まれる輪廻転生のあることを教えています。まさに100億歳の鴨長明が感じたであろうことが起こっています。

現代の天文学によると、我々の住んでいる宇宙は、137億年の歴史があり、その間、何度となく星々が生まれ、成長をし、最期を迎えました。137億年前に起こったビックバンから誕生した我々の宇宙は、宇宙膨張とともに水素やヘリウムなどの元素が創られ、それらのガスが引力により集まり巨大なガス雲となり、さらに凝縮して星の誕生となるような大きなガス球となります。

おうし座にあるかに星雲は7200光年の距離にある天体ですが、1054年に超新星爆発をし、その時放出した自分自身の星のガスが現在でも秒速約1500kmで膨張しています。このガスにはさまざまな元素が含まれており、藤原定家の明月記に、この爆発現